

## 令和 7 年度第 2 回下関市立図書館協議会議事録

開催日時	令和 8 年 2 月 12 日(木) 14:00～15:40
会場	下関市教育センター 3 階中研修室
出席委員 (8 名)	吉光紀行 委員 西河内靖泰 委員 久永春美 委員 村岡亜由子 委員 船瀬保美 委員 山田都志子 委員 西岡光彦 委員 田口美春 委員
欠席委員 (2 名)	山村裕史 委員 植木康代 委員
事務局 (13 名)	教育部 部長 門田重雄 中央図書館 館長 崎野美也子 副館長 大石敦磨 館長補佐 升野明子 主任 水戸麻紀子 副主任 三村弘則 彦島図書館 館長 久保晴宣 長府図書館 館長 村上秀夫 はまゆう図書館 館長 加祥里音 菊川図書館 館長 山内和茂 豊田図書館 館長 杉村昌彦 豊浦図書館 館長 沖中真志 豊北図書館 館長 藤川雅宏
傍聴者	なし
議事	(1)令和 7 年度下関市立図書館基本計画における 基本目標及び各館の取組(報告)について (2)令和 8 年度下関市立図書館基本計画における 基本目標及び各館の取組(案)について (3)その他

## 開会

事務局より開会を告げる

### 【教育部長挨拶】

皆様、こんにちは。教育部長の門田でございます。本日はご出席いただきまして、誠にありがとうございます。また、皆様には平素から図書館行政につきまして、ご支援、ご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

本市を取り巻く話題と申しますと、先月 14 日で丸 1 年が経ちました「はまゆう図書館」がございます。本市 8 館目の図書館として、緑の眺望を楽しめる“くつろぎ型”をコンセプトに整備し、多くの皆様にご好評をいただいております。貸出件数も中央図書館に次ぐ第 2 位となっており、注目度の高い施設です。今後もさらなる利用促進と活性化に取り組んでまいります。

一方で、長府図書館は築 50 年以上が経過しておりまして、老朽化が著しく、我々としても大きな課題と認識しております。

本日は、令和 7 年度の活動報告と令和 8 年度の基本計画、計 2 件の議題を提出しております。いずれも図書館基本計画に関する案件でございます。限られた時間ではありますが、忌憚のないご意見を賜れば幸いです。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

### 【委員紹介】

## 議事(1) 令和 7 年度下関市立図書館基本計画における基本目標及び各館の取組(報告)について

(会長)

それでは、令和 7 年度第 2 回下関市立図書館協議会を開催いたします。実は令和 6 年度の最初の会議ではインフルエンザにかかり、皆様とお会いできておりませんでしたので、本日初めてお会いする方もいらっしゃるかと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

次第に従いまして、会議を進めてまいります。円滑な進行につきまして、皆様のご協力をお願いいたします。

議事に入る前に、下関市立図書館基本計画と各年度に策定する年次計画について、事務局より説明をお願いいたします。

(事務局)

下関市立図書館基本計画と各年度に策定する年次計画についてご説明いたします。着座にて説明させていただきます。

「第2次下関市立図書館基本計画」は、図書館の基本理念と、それに基づく基本方針を定めるものです。計画期間は令和5年度から令和9年度までの5年間で、この間に掲げた方針を着実に実現するため、毎年度の具体的な取組を年次計画として示します。

年次計画では、基本目標及び各館の取組についての業務目標を明確に位置付けます。各図書館は設置環境や利用者ニーズが異なるため、館ごとに検討・策定を行います。想定する利用者像を踏まえて設定する業務目標は、各館の特色を生かした内容となっております。以上です。

(会長)

ただいま事務局から説明がありました。それでは、議事(1)として、令和7年度下関市立図書館基本計画における基本目標及び各館の取組(報告)について、事務局からお願いいたします。

(事務局)

それでは説明いたします。資料1をご覧ください。今年度の業務目標は19項目です。基本目標として5項目、各図書館で14項目を設定しています。各館の取組の報告につきましては、館ごとに順にご説明し、最後にご意見・ご質問を伺う形で進めたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。では、中央図書館からご説明いたします。

説明の前に、事前配布いたしました資料に一部誤りがありましたのでお知らせいたします。本日配布の資料は訂正済みです。訂正箇所は1か所で、資料1「令和7年度下関市立図書館基本計画における基本目標(報告)」1ページ「3 学校図書館との連携の強化について」進捗状況の5行目について、「豊田図書館および豊浦図書館で除籍した」となっておりましたが、「豊田図書館で除籍した」と訂正しております。よろしくお願いたします。

それでは、全館にかかる目標の進捗状況についてご説明いたします。1ページをご覧ください。基本目標として5項目を挙げております。

「図書館サービスの周知」としまして、下関市立図書館の全館で掲げた年次計画の実施内容や進捗状況を把握し、次年度計画の検討につなげました。情

報発信は「図書館だより」やホームページ、公式 X (エックス)、Facebook を活用し、利用案内・お知らせ・イベント・おすすめ資料を継続的に周知しております。

電子図書館につきましては、一般利用者向け「電子図書館だより」と児童生徒向け「でんしとしょかんだより」を作成し、ホームページへの掲載及び学校配備タブレットを通じて配布いたしました。

「図書館司書の技能向上」では、県立図書館や日本図書館協会、国立国会図書館等の研修に参加するとともに、自主開催の研修として、学校司書と合同で「紙芝居と大型絵本の読み聞かせ」研修を開催いたしました。また、「図書館での著作権」をテーマとした研修を2回実施いたしました。さらに、2月27日に応急手当と心肺蘇生を学ぶ「普通救命講習」を開催予定です。

次に「学校図書館との連携の強化」につきましては、先ほど申し上げた学校司書との合同研修を開催し、研修後に情報交換の時間を設けました。学校司書と交流するよい機会となりました。また、豊田図書館で除籍した児童書の譲渡会を開催し、豊田町内の学校に提供いたしました。中央図書館では、今年度は開催がありませんでしたが、4月に譲渡会を開催する予定です。

2ページをご覧ください。「地域資料の充実と利用促進」につきましては、下関市発行資料の収集と地域資料コーナーの定期更新を行い、中央図書館5階の地域資料コーナーで「下関と交通」「下関と水産」「下関の美味しいもの」などの展示を行いました。

「図書館サービス満足度の把握」として、1月17日から2月17日まで「図書館のサービスについてのアンケート」を実施し、館内配布とウェブ回答を受け付けております。結果は図書館ホームページにて公表する予定です。

続きまして、中央図書館の目標についてご説明いたします。中央図書館の目標は6項目です。

3ページをご覧ください。「特殊コレクションの活用とその情報発信(継続)」としまして、中央図書館のコレクションを紹介するため、整理済みのレコードを活用した「レコード鑑賞会」を開催いたしました。選曲した時代の当時の新聞や雑誌を併せて閲覧できるようにし、好評でした。広報は市報やSNS、4階ガラスケースでの展示などにより情報発信を行いました。未登録資料の整理につきましては、レコードの状態を確認し、クリーニングを進めており

ます。

4 ページをご覧ください。「移動図書館車『ブックル』の積極的な広報活動（継続）」では、昨年に引き続き学校訪問を行いました。抽選で5校を訪問し、車両機能の紹介や乗車体験を実施し、記念のペーパークラフト等を配布いたしました。ひかり童夢での体験イベント「ブックルたんけんたい」も好評でした。

移動図書館のステーション到着前アナウンスを開始したほか、棚の高さや案内表示の改善、テーマ展示の設置など、使いやすい環境づくりに努めました。また、11月にはNHK Eテレ「夏井いつきのよみ旅！」でブックルが紹介され、より多くの方にブックルを知っていただく機会となりました。

5 ページをご覧ください。「地域資料の充実と整理（継続）」では、下関関連パンフレットを内容別・年代順にリスト化し、計336件、ファイル4冊分となりました。パンフレットは展示にも活用いたしました。また、長府図書館から移管された和書は約1,300冊で、全体の約2割のリスト化が完了しております。

6 ページをご覧ください。「魅力ある書架づくり（シニアライフコーナー刷新）」では、5階の「シニアライフコーナー」のリニューアルに取り組みました。看板や棚案内の整備、大活字本の説明の設置、ジャンル分けと色分け表示により利便性が向上しました。また、長寿支援課と認知症に関する展示を共同実施いたしました。広報としては、図書館だよりにコーナーのリニューアルを紹介いたしました。

7 ページをご覧ください。「YA（ヤングアダルト）コーナーの整備と利用促進（継続）」では、中高生の利用動向に合わせて蔵書を見直し、シリーズ最新刊の紹介展示や、中高生に読んでほしいおすすめ本POPの展示を行い、利用促進を図りました。

8 ページをご覧ください。「児童室の別置資料の整備」につきましては、必要性と内容を見直し、種類を絞りつつ情報整備と配置変更を進め、通常書架への戻しや適正な別置への移行を行っております。中央図書館の説明は以上です。

彦島図書館です。今年度の報告をいたします。資料1の9ページです。目標

は、市民が本に親しむための環境づくりです。主な取組は3点で、進捗状況と併せてご報告いたします。

1点目は、市民の方々が読書に親しみ、学ぶことができる蔵書管理です。料理コーナーでは、十進分類法の9版と10版が混在していたため分類を変更し、分かりやすく整えました。さらに材料別に細分化し、分かりやすい書架としました。

2点目は、児童書の魅力ある展示の工夫と、分かりやすい書架づくりです。児童室の絵本のシリーズコーナーを撤去し、書架中央の面出し棚をテーマ展示や既設展示コーナーとしました。その結果、展示図書を手にとっていただく姿が見られました。

3点目は、テーマ展示コーナーの設置です。月ごとに防災やベストセラーなどテーマを決めて実施しております。また今年度は、貸出回数0の本を「貸出を待っている本」としてコーナー展示し、31冊中12冊が貸し出されました。以上です。

長府図書館です。10ページをご覧ください。令和7年度は、業務目標を「ヤングアダルトコーナーの充実」として取組を進めました。

修学旅行に合わせ、長崎・広島原爆や平和を考える資料の展示を行いました。また中学生に向けて、修学旅行先の奈良・京都等に関連する地域資料も併せて展示しました。

読書感想文、芸術の秋など毎月テーマを決め、YAコーナーの充実に努めました。近隣校（豊浦小学校、長府小学校、長府中学校、長成中学校）の児童生徒に向け、YAコーナーの内容を掲載した「図書館だより」を今年度から配布しております。

2点目として、予約・リクエストサービスの普及に取り組みました。職員から利用者へリクエストカード記入を積極的にお声がけし、可能なものは積極的に購入しました。当館に所蔵がない場合は、市内所蔵状況を確認し、相互貸借の利用可否についても積極的に対応しました。以上です。

はまゆう図書館からご報告いたします。目標は所蔵資料の充実です。リクエスト資料は積極的に購入し、利用者の皆様の要望にお応えしております。情報コーナー・連携コーナー・読書支援コーナーの資料は、常に新しい情報を入手するよう努め、最新の資料を提供できております。そのほか文学や絵本コーナーでは、新刊に限らず名作や良著を積極的に収集し、利用促進につなげております。以上です。

菊川図書館の報告をいたします。12ページをご覧ください。目標は「利用を

高める書架の改善とコーナーづくり」です。児童室の既存コーナーを見直し、使用していた棚を入れ替え、新たに絵本の棚として整備しました。一般の雑誌コーナーは、バックナンバーを手に取りやすいよう、背の高い棚から低い棚に入れ替えました。

今後は、一般・児童の子育て関連本を移動して新たなコーナーを設置します。新刊コーナーは見やすくなるよう工夫し、より利用しやすい配置に改善を進めます。以上です。

豊田図書館からご報告いたします。業務目標は「地域資料の整備と充実の継続」で、内容は2点です。1点目は地域にちなんだ資料の整備と充実、2点目はホテルに関する資料を中心に収集することです。

進捗状況として、下関市資料と豊田町の資料が混在していたものから、豊田町に特化した資料を抜き出し、背ラベル下部に「豊田」と記したシールを貼付し、分かりやすくしました。

ホテル関連資料は一般・児童で各1冊、カタツムリ関連資料は一般1冊・児童2冊を新規購入しました。今後も整備を進めます。以上です。

豊浦図書館から報告いたします。令和7年度の業務目標は「利用しやすい図書館の環境づくり」です。利用者が目的の本にたどり着きやすくなるよう工夫しました。

一般文学コーナーでは、特に利用の多い作家について差し込み見出しを新設しました。料理コーナーでは、これまで請求記号やサイズなどで並べていた棚を作者ごとに集約し、作者の差し込み見出しを整備して探しやすくしました。

郷土作家の作品は、一般文学コーナーから郷土資料コーナーへ移動し、より郷土作家を紹介できる書架となりました。以上です。

豊北図書館から報告いたします。目標は「図書館の認知度アップを図り、利用促進につなげる」ことです。地域情報の収集・発信として、豊北町内の公民館だより等を収集し、公民館だよりは掲示板に掲示し、バックナンバーはファイリングして地域資料として保存しました。

次に「図書館をもっと使おう」では、利用者向けにOPAC（蔵書検索用オンライン目録）の使い方、予約の仕方、マイページの使い方等を学ぶ機会を設け、さらなる利用につなげます。なお当初は講座開設を予定していましたが、ゆとりを持って体験いただくため、個別対応に変更しました。OPACを利用されている方にお声がけし、その方に合った便利な使い方を説明し、体験いただいております。以上です。

## 質疑応答

(会長)

報告が終了しました。これに対して、ご意見・ご質問はございませんでしょうか。

(委員)

1 ページの「3 学校図書館との連携の強化」について確認いたします。現在、学校司書は何名いらっしゃいますか。また、学校司書との研修会を開催されたとありますが、研修後の情報交換で、学校司書からどのような意見が出ましたか。内容を知りたいです。

研修会の参加者は 20 名で、学校司書全員が参加しております。交流は、学校の近い地域の司書同士、学校図書館司書と公共図書館司書が同じグループになるよう配慮し、情報交換や研修内容の共有を行っております。アンケートの回答では、学校現場の生の声を聞いてよかった、子どもが今喜んで見ているものの傾向が分かった、団体貸出等について直接話ができて今後話しやすくなった、などの感想が寄せられております。

(会長)

関連して質問ですが、図書主任との合同研修会などはありますでしょうか。学校司書が参加される研修について、司書教諭との共有認識、また校長先生にもこうした活動を認知していただく方法について、何かお考えはありますか。

(事務局)

この研修会は学校司書と図書館司書の研修会として開催しております。案内文書は学校宛に送付し、学校司書の参加を依頼していますが、図書主任や司書教諭、校長先生へ直接呼びかけるところまでは、現状ではできておりません。

(会長)

可能であれば、校長先生に認知していただくほうが、図書館と学校教育の連携がうまくいくのではないかと思います。校長先生の認識を高める働きかけを検討していただけるとありがたいです。

(委員)

2 ページの「図書館サービス満足度の把握」について、現在調査中とのことですが、公開はいつ頃の予定でしょうか。公開の際には、データ分析をしたものを掲載したほうがよいと思います。以前から申し上げておりますが、分析が難しければ私が分析いたします。

また、3 ページの特殊コレクション（レコード）についてです。クリーニングを行っているとのことですが、汚れや破損、歪みはどの程度ありますでしょうか。数字で把握されている場合はお答えください。

(事務局)

アンケートは2月17日まで実施し、その後集計いたします。3月末までシステム更新作業のためホームページが停止予定ですので、4月公開を目指して準備を進めたいと考えております。分析の重要性は認識しており、分析した内容も含めて公開準備を進めます。

レコードの状態につきましては、申し訳ございませんが数値の手元資料がございません。現時点では状態の良いものからクリーニングを行っております。数値的な確認は今後の課題といたします。

〔事務局追記〕割れ・ひび・傷等、状態の悪いレコードは現在60枚です（確認作業中のため総数は未把握です）。

(委員)

4 ページの「移動図書館車『ブックル』の積極的な広報活動」についてです。抽選で5校とありますが、どれくらいの応募がありましたでしょうか。また、先日のNHK Eテレの再放送を拝見しました。移動図書館に対する誇りや熱意、誠実さが伝わる、とても良い番組で嬉しく思いました。応募校数を教えてください。募集対象は小中高すべてでしょうか、それとも小中のみでしょうか。

(事務局)

募集は小学校・中学校へ送付しております。応募校数の記録が手元にございませんが、応募は小学校のみだったと聞いております。訪問日は5日間を設定し、そのうち2日は特定地域4町向けの日を設け、指定日を通知しております。

〔事務局追記〕応募は7校（いずれも小学校）でした。

(会長)

小学校、中学校は何校ありますか。

(事務局)

学校数は、小学校が約 41 校、中学校が 23 校です。

(会長)

今回、訪問枠が 5 校だと全校を回るには時間がかかります。枠を増やすか、地区ごとのローテーションで順番に回るなど、待ちの姿勢ではなく積極的に訪問する方法を検討されたほうがよいと思います。ご検討ください。

(委員)

4 ページの NHK E テレの件ですが、11 月に E テレで放送されましたが、今年の 1 月に総合テレビでも放送されています。資料には 1 月の総合テレビでの放送（1 月 9 日 19 時 30 分から、翌 10 日 7 時 30 分から）も追記したほうがよいと思います。

(委員)

菊川町の檜崎小学校のお知らせで、玄関に掲示されていたと思うのですが、「水曜日に月 2 回『ブックル』が来ます」という掲示を見たように記憶しています。毎月水曜日に月 2 回の訪問でしょうか。私の読み間違いでしょうか。お尋ねします。

(事務局)

ブックルの新ステーションについてご説明いたします。令和 8 年度 4 月から 2 ステーション増設予定で、菊川町の檜崎小学校に月 2 回（水曜日）で、4 月 1 日から訪問する予定です。もう 1 か所は豊浦町の豊浦多世代交流センターで、こちらは土曜日です。いずれも 14 時 10 分から 14 時 50 分の運行予定です。そのご案内を小学校にも通知しております。

(委員)

6 ページの「シニアライフコーナーの刷新」について、どんどんリニューアルされ、利用者にとって魅力的なコーナーになっていると感じます。長寿支援課との共同企画で認知症に関する展示を 9 月に実施されたのも良かったと思います。下関市も高齢化率が高くなっているようですので、高齢者にとって関心の高いテーマです。認知症のテーマなどは継続的に展開していただきたいと思っています。

(委員)

菊川図書館でも、新刊やまだ読まれていない本など、特設コーナーを設けています。特設コーナーは担当者が決まっていますか。それとも皆さんで選んで並べていらっしゃるのでしょうか。どうやって選書されているのか聞かせてください。

(事務局)

テーマコーナーは各館で、どの時期にどのテーマをするか年間計画を立てて実施しています。担当者を決める場合と持ち回りの場合があります。選書は一人で選ぶのではなく、複数の職員の意見を踏まえ、それぞれの地域の特色を生かして実施しています。共通テーマを全館で時期を変えて展開することもあります。地域資料の常設コーナーも各館で設置しています。

(会長)

シニアライフコーナーにつきましては良いことだと思います。図書館によく来られて問題解決をしようという方は、ある程度課題が分かった上で来られていると思います。一方で、そもそも課題が見つからないという方々もいるので、認知症など直面する課題解決に有用なものも多いと思います。そのあたりも併せてご検討いただければと思います。課題解決のために図書館に来てもらい、という方法も考えるとよいのではないかと思います。

(委員)

各館の取組は素晴らしいと思います。質問ですが、12ページの「せっちゃん文庫」を解体して新しく刷新されたとのことですが、その後「せっちゃん文庫」の扱いはどうなりましたでしょうか。学校図書室でも寄贈された文庫があり、文庫の解体になかなか踏み切れず扱いに悩むことがありますので、参考にお聞かせください。

(事務局)

「せっちゃん文庫」は、2013年から2019年までの7年間にご寄贈いただいた絵本や読み物などの児童書コーナーとして設置していました。設置から年数が経過し、コーナーとしての入替や更新などの整備が難しくなってきたため、専用棚は解体し、コーナーをリニューアルしました。

資料は廃棄せず、児童書の読み物・絵本コーナーの定位置に戻し、他の資料と一緒に手に取っていただけるようにいたしました。いただいた資料を解体することは心苦しい部分もありますが、より多くの方にご利用いただけるようにするため、今回のリニューアルとして書架づくりを進めた経緯です。

(会長)

定位置に戻すリニューアルだと思えますが、その際に「せっちゃん文庫」の本だったということは、どこかに明示されていますか。一般書等が文庫として寄贈された場合、一般的な書架に並べたほうが利用者にとって利用しやすい場合があります。その際、寄贈者への敬意を払うという点で、文庫であることが分かるように記号を付けるなどもありますが、そのあたりはいかがでしょうか。

(事務局)

「せっちゃん文庫」につきましては、背ラベルに分かるように表示しております。また、扉にも寄贈者が分かるように寄贈者名を記載しております。

(会長)

OPACで、例えば「せっちゃん文庫」で検索すると検索結果が出るのでしょうか。書誌データの注記に入っていれば可能だと思えますが、いかがでしょうか。

(事務局)

寄贈者としてはデータに入っておりますが、現時点でそれを検索できる状態で書誌を登録しているかどうかにつきましては、今確認できておりません。

(会長)

注記のような形で情報を載せておき、注記を検索対象にすればよいのではないかと思います。メーカーごとに違いはあるかと思いますが、ご検討をお願いいたします。

(事務局)

4月から図書館システムが新しくなる予定で、次のシステムは非常に豊富な検索手段を持てるものとなっております。ホームページから検索していただくウェブ OPAC の検索も充実させる予定です。その中の項目の一つとして、寄贈者や受入先から検索する機能が利用できる見込みです。

「せっちゃん文庫」の図書がどのような形でデータが入っているか確認が必要ですが、寄贈者名として福田節子先生のお名前を入力し、OPAC 検索で「福田節子」にチェックを入れると、「せっちゃん文庫」の一覧を出すことができるのではないかと思います。併せて検討してまいります。

(会長)

「せっちゃん文庫」というのは、図書館側で付けた文庫の名前でしょうか。

(事務局)

名称は、福田節子先生のご家族から、ぜひ福田節子先生のお名前を使ってほしいとの希望があり、「せっちゃん文庫」とした経緯です。

(会長)

「せっちゃん文庫」が一般的に広まっていると、「せっちゃん文庫」で検索することがあるかもしれません。その場合に検索できるかどうかも含めて、ご検討をお願いいたします。

(委員)

11 ページのはまゆう図書館ですが、先ほど中央図書館に次いで 2 番目に利用者が多いと伺い、すごいと思いました。私にとっても自宅から一番近い図書館で、よく利用しています。いつも進化し続けていて、もっと良い図書館にしたい、もっと利用者に親しんでいただきたいという思いが伝わってきます。雰囲気は居心地よく、皆さんがリラックスしている空気を感じます。園芸センターの跡地ということもあり、園芸関係の本が充実しています。貸出できない大切な本もありますが、貸出できる本もたくさん揃えられています。読書支援に関する資料にも力を入れておられ、『点字ジャーナル』『点字毎日』など、他の図書館にはない点字の資料も備えられています。カウンター前に読書支援が必要な方のために配置していただき、援助が必要であれば職員が気づけるよう配慮されていて、とても感心しています。まだ開館から間がない中で、皆さんが心尽くしでくださっていることに感謝しております。

(会長)

ほかにご意見はございますか。ご意見をありがとうございました。それでは、報告については以上といたします。

## 議事(2)令和8年度下関市立図書館基本計画における基本目標及び各館の取組(案)について

(会長)

それでは、議事(2)令和8年度下関市立図書館基本計画における基本目標及び各館の取組(案)について、事務局から説明をお願いいたします。

(事務局)

令和8年度下関市立図書館基本計画における基本目標及び各館の取組(案)につきましてご説明いたします。資料2をご覧ください。中央図書館から順にご説明いたします。

令和8年度につきましても、各館ごとの取組の中で目標を掲げ、年次計画(案)を作成いたしました。資料2の1ページをご覧ください。基本目標は全館に共通する目標として、昨年度とタイトルに変更はありません。取組内容は1点、「学校図書館との連携強化」で、学校司書と合同の児童サービス等に関する研修会の開催を追記しております。

2ページをご覧ください。中央図書館の年次計画についてご説明いたします。中央図書館では6項目を挙げております。

「特殊コレクションの活用とその情報発信(継続)」として、市民から要望のあったレコード鑑賞会を引き続き実施し、活用と情報発信を継続します。

「しものせき電子図書館の利用促進」は新規の目標です。使い方講座「えっ！意外と簡単！はじめての電子図書館(仮)」を開催し、利用方法の説明を行います。また、「しものせき電子図書館だより」を継続して発行し、児童生徒・一般利用者向けにホームページや学校タブレット経由で配布します。さらに、子ども向けの簡易「利用ガイド」を新たに作成し、アクセスしやすいバナー等も整備します。

「移動図書館車『ブックル』の積極的な広報活動と利用促進(継続)」では、学校訪問を継続し、訪問していない学校を中心に訪問します。令和8年度はステーション増設があるため、各ステーションのニーズを把握し、車内書架の見直しで一層の利用促進を図ります。

3ページをご覧ください。「地域資料の充実と整理(継続)」では、引き続き書庫所蔵和書の整理を行います。

「魅力ある書架づくり（コーナーの刷新）（継続）」では、今年度は「シニアライフコーナー」をリニューアルしましたが、来年度はガイドブックコーナーを刷新します。入替や除籍、表示の工夫で探しやすさを高めます。

「児童室別置資料の整備（継続）」では、4階児童室の別置資料について、今年度行った別置記号の見直し結果に基づき、利用者ニーズに合わせて記号を付与し、書架全体の整備を行います。以上です。

彦島図書館です。資料2の4ページです。令和8年度の目標は、今年度に引き続き「市民が本に親しむための環境づくり」としております。書架の整備を継続的に行い、利用者が求める情報を容易に入手できるよう努めてまいります。

内容は、1点目として児童室の別置資料の内容を見直し、新たに分かりやすい表示を添付する予定です。2点目として利用者の関心を引く展示コーナーを設置します。3点目としてテーマ展示コーナーを拡充し、手に取りやすいよう配慮します。児童コーナーでは、夏休み期間中など学習に役立つ企画を設ける予定です。以上です。

長府図書館です。5ページです。今年度、児童書は絵本の貸出が活発でしたが、読み物の貸出は活発ではなかった状況を踏まえ、令和8年度は「児童書の利用促進」を目標に取り組む予定です。

取組内容は2点です。1点目は、低・中・高学年向けのおすすめ児童書の展示を行い、紹介POPを作成し、それを低・中・高別に1冊にまとめてパンフレットを作成する予定です。2点目は、昔から読み継がれてきた児童書のリストを作成し、活用する予定です。以上です。

はまゆう図書館です。令和8年度も引き続き所蔵資料の充実を図ります。その際、利用者の利用傾向を分析し、結果に基づいて選書を行ってまいります。2点目として、読書支援の推進を図ります。読書支援コーナーの利用促進のため、案内表示の改善や紹介展示を実施し、利用を促進します。併せて職員が読書支援に関する研修に積極的に参加し、サピエ図書館や読書支援資料を実際に利用して理解を深め、活用してまいります。以上です。

菊川図書館です。業務目標は「居心地のよい、親しみのある図書館へ」です。昨年に引き続き、利用者目線に立った利用しやすい図書館づくりに取り組みます。YAコーナーや児童室、おはなしのへやの改善、一般コーナーの古くなったサイン等の見直し、館内地図の作成などに取り組み、施設は古くても気

持ちよくご利用いただけるよう努めてまいります。以上です。

豊田図書館です。今年度と同様、豊田地域の特色を出す形で資料の整理と充実を図ります。豊田シールは、まだ貼っていない閉架資料への添付を進めます。また、地域資料コーナーの整理とホタルコーナーの充実を図ります。以上です。

豊浦図書館です。令和8年度も引き続き「利用者目線に立った利用しやすい環境づくり」に取り組みます。目的の本にたどり着きやすくする工夫を、児童図書コーナーでも実施します。絵本には請求記号とは別に別置記号や背ラベルを設置し、種類によっては別置記号ごとに集約します。人気作家の差し込み見出しも充実させる予定です。さらに、探し方ガイドマップを絵本コーナー入口に設置する予定です。以上です。

豊北図書館です。業務目標は昨年同様「図書館の知名度アップを図り、利用促進につなげる」です。地域情報の収集・発信に力を入れ、SNS等を活用した情報発信を行います。

また、利用者の高齢化に伴い来館が難しい方のため、電子図書館の利用を促進します。「しものせき電子図書館」のPRを行うとともに、利用方法を体験できる機会を提供します。以上です。

## 質疑応答

(会長)

以上、各館の年次計画について説明がありました。ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

2ページの「しものせき電子図書館の利用促進」ですが、「電子図書館」という名称から、何ができるのか分かりにくい印象があります。電子資料がメインだとは思いますが、「電子図書館」というと、資料だけでなく図書館の機能全般が電子的にできるのでは、という印象を持たれる可能性があります。電子図書館で何ができるのかについて、お考えをお聞かせください。

(事務局)

現時点では、利用者がログインすることで、来館せずとも電子図書を貸し出すことができるサービスを提供しております。また、「読み放題パック」があり、同時に複数の方が閲覧できる資料もあるため、小学校などで同時に何人もが読むことができ、利用頻度の向上が期待されます。来館せずにご

も閲覧可能な点が、電子図書館の大きな魅力だと考えております。

(会長)

一般市民の方が「電子図書館」と聞くと、今図書館で行っているサービスが電子的にできるのかなと思われるのではないかという点が気になりました。資料提供は理解できますが、例えばレファレンスサービス、文献複写、著作権の問題がありますが、相互貸借の申込みを来館せずにできる、あるいは移動図書館「ブックル」に載せて提供するなど、電子的な機能を使ってできるサービスが頭に浮かぶのではないかと思います。新しいシステムを導入するのであれば、拡張的なサービスも検討されるべきではないかと感じました。

(事務局)

電子図書館は分かりづらいという印象を持たれる方が多いと感じます。アンケートでは「使い方が分からない」「どこでこのサービスを利用できるのか」といった声が多く、小学生対象のアンケートでは「電子図書館」をどこかの図書館だと誤解している回答もあり、現状では周知が不十分です。電子図書館は2年目を迎えますので、利用方法等を知っていただけるようイベントや周知に力を入れたいと考えております。

(会長)

確定申告もオンラインでできる時代ですので、利用者が自分で動くのではなく、電子的な情報が自分のところに届く、という形のサービスがあると、図書館をより利用しようと思うかもしれないという趣旨で申し上げました。

(委員)

電子図書館について、先日利用しようとした際、ログインできませんでした。図書館に電話すると、図書館に行かなければパスワード設定ができないと言われました。4月から新システム導入後は自宅から登録可能になるとのことで安心しました。若い方はすぐ利用できると思いますが、私たちの年代は教えてもらわないと分からない部分があります。足を運びづらい方々が利用しやすいよう、説明や周知をしていただけると助かります。

(委員)

電子図書館に関連して質問です。2ページに簡単な利用ガイドを作成すると思いますが、中央図書館だけではなく全館に備えていただけるのでしょうか。最寄りの図書館で使い方を聞きたいのですが、可能でしょうか。職員の方が忙しい中、どの図書館でも対応できるのか心配もあります。せっかくの電子

図書館ですので、多くの方に利用いただけるようサービスとして進めていただければと思います。

(委員)

電子書籍・電子図書館については、コンテンツ量が課題として指摘されています。一般の方が見たいと思っている電子書籍に図書館が対応できていない、という課題です。資料費の確保が必要で、一度始めた以上、途中で頓挫することがないようにしていただきたいと思います。コンテンツの幅と中身の両方を保障する姿勢が必要です。出版界に図書館を敵視する風潮もありますが、何とか克服していただきたいと思います。共通認識として持っていただきたいので申し上げました。

(会長)

特に資料費は継続が重要です。単にあるだけでなく、追加して高めていく必要がありますので、その戦略を考える必要があると思います。

(事務局)

ご質問にお答えいたします。まず、電子図書館がご利用いただけず来館いただいた件につきましては、ご不便をおかけし申し訳ございませんでした。電子図書館はサービス開始当初、市内在住で登録済みの利用者の皆様を一括登録いたしました。システム上の手違いによりパスワード設定がうまくいかなかった可能性がございます。

4月から図書館システムが新しくなることから、電子図書館との連携を検討しております。電子図書館の利便性は、来館せずにご自宅などで電子書籍を閲覧できる点にあります。来館して登録いただくのではなく、システム連携によりご自宅から電子申請で利用者登録ができる仕組みの導入を検討しております。これにより、紙の本の予約はもちろん、その場で電子図書館をご利用いただける仕組みを考えております。

次に使い方のご説明ですが、図書館サービスの一環として、各図書館でお問い合わせいただければ職員が丁寧にご案内いたします。また、中央図書館と豊北図書館でPRイベントの開催も検討しており、より広く知っていただく取組を考えております。

利用ガイドの配付は全市的なサービスですので、中央図書館で作成しましたら各図書館の窓口でも配布し、利用いただける環境にしたいと考えております。利用案内はウェブ上にも掲載予定です。

電子図書館の予算については、今後タイトル数を増やしていくため予算確保が必要であると認識しております。下関市のタイトル数は令和7年度で約3,300タイトルです。県内で最も多い自治体は約1万5,000タイトルで、全国の中核市平均も約1万1,000タイトルです。下関市はまだ不足していますので、今後も予算要求を継続します。令和8年度予算は今年度以上の額で内示をいただいております、タイトル数を増やす方向で必要な予算確保に努めます。

(会長)

電子資料、いわゆる電子ブックについてですが、どこかのメーカーが提供しているものを導入しているという理解でよろしいでしょうか。

(事務局)

はい、そのとおりです。TRCのものを導入しております。

(委員)

質問ですが、各館の開館時間は市内全館9時30分でしょうか。

(事務局)

中央図書館は9時からです。その他の図書館は9時30分からです。

(会長)

要望ですが、3ページの「地域資料の充実と整理」に関連して、観光パンフレットのような資料も積極的に集めるとよいと思います。ホテルのパンフレットも含め、関連資料を集めるのもよいのではないのでしょうか。図書館に行けばその地域の情報が一通り分かる、ということを目指すとよいと思います。観光も地域資料の一つとして位置付け、柔らかな資料も集めることが大事だと思います。下関に来た際、分からないことがあれば図書館に行けばよい、そうすれば解決できないにしても次にどうすればよいか分かる、ということが重要です。図書館を情報発信基地として位置付け、資料提供を進めることがよいのではないかと思います。

(委員)

私が中央図書館に在職中、観光パンフレットをJRやJTBなどからもらっていましたし、ホテルにも話をしてパンフレットをもらってました。今も継続していますか。

(事務局)

観光パンフレットは、市内の各イベントや市が開催するものは収集に努め、更新・保存しております。ホテルのパンフレットは更新できておりませんので、今後収集に努めます。

(委員)

追加ですが、下関は韓国に近いので、韓国のホテルのパンフレット等を集めてはどうでしょうか。韓国の観光局等は協力的で、送ってくれると思います。費用もかかりません。

(会長)

それがあることを市民の方に認知していただかないと、ただ置いてあるだけになってしまいますので、周知もよろしくお願いいたします。

(委員)

2ページの「ブックル」について、令和8年度から豊浦町にブックルが来るというチラシを見てとても嬉しかったです。今後、豊田町や豊北町もそのうち来ていただけるのかと思っています。要望ですが、チラシを配るときにQRコードで日程表が見られるようにしていただくと、いつ来るのか分かるので周知に良いと思います。また、公民館だよりも、図書館から要望があれば「今月は何日と何日にブックルが来ます」と載せられますので、ぜひ要望してください。

(会長)

QRコードの掲載はよろしくお願いいたします。QRコードがあれば情報へつなげられますので、良いと思います。

(委員)

移動図書館ブックルですが、近所に来ると皆さんたくさんいらっしゃいます。私の住むところでは一番近い図書館は長府図書館か菊川図書館だと思いますが、先ほど、菊川と長府は築50年ぐらい経つと伺いました。最近できたはまゆう図書館は人気ですので、来館者が増えたのだと思います。菊川図書館や長府図書館の建替えやリニューアルなど、何か計画はあるのでしょうか。

(事務局)

教育委員会としては、地域図書館を大切にしたいと考えております。はまゆう図書館に対して皆さんが前向きな思いをお持ちですので、できれば図書館

も複合化し、より多くの方に使っていただけるような施設を考えられないかというのが希望です。図書館そのものについて「いつ建て替えます」という具体的な計画は現時点では手元にありませんが、できるだけ早い段階で皆さんにお知らせできるよう作業を進めたいと考えております。

（会長）

これも費用がかかることですので、図書館を使うだけでなく、資金をどこから確保するのも考える必要があります。自治体予算だけで賄うのが難しいことは理解しておりますので、お金がないからと言うだけでなく、資金をどこから持ってくるのか、その方法も含め戦略として考えていく必要があると思います。

（委員）

古い菊川図書館という話をしていただき、とても心強く思いました。ぜひ図書館を大事にしていただきたいです。私たちが高齢になると行動範囲が狭まり、身近にいつでも行ける場所があることがどれほど大切か分かってきます。「古いから駄目です」「予算がないから駄目です」ではなく、ぎりぎりまで何とか頑張っていたいただきたいです。図書館は本当に大切な場所だと感じています。よろしく願いいたします。

（委員）

令和7年度の活動報告と令和8年度の活動目標について、資料を拝見してとても嬉しく思いました。基本計画をもとに生きた計画になっていると感じます。市民一人ひとりの生活や暮らしの姿が浮かびます。館ごとの特色が守られながら進化しており、「利用しやすい」「居心地がよい」といった言葉が多く盛り込まれていて思いが伝わってきました。令和8年度もどうぞよろしくお願いいたします。

### 議事(3) その他

(会長)

それでは、議事(3)その他に移ります。何かございますか。  
ないようでしたら、事務局から報告があるとのことですのでお願いいたします。

#### 図書館システムの更新について

(事務局)

図書館システムの更新についてご説明いたします。資料3をご覧ください。  
図書館システムの更新に伴い、令和8年4月より新たな機能やサービスが開始します。

はじめに「しものせき電子図書館」との連携です。現在、図書館システムと電子図書館は別々の入口からログインする必要があり、パスワードもそれぞれ個別に設定されています。両者を連携することでパスワードを統一でき、ログインがより円滑になります。さらに、ホームページの検索画面から紙の本とあわせて電子書籍の検索が可能になります。また、検索結果からそのまま電子書籍の貸出手続が行えます。

次に、オンライン利用申請です。ホームページから新規の利用登録申請が可能になります。また、登録内容の変更、有効期限の更新もオンラインで手続きができ、来館が難しい方でも自宅等から手続きを完了できます。

続いて、読書サポートAI検索支援機能の導入です。検索画面からチャット形式で、探したい本や疑問を入力すると、AIが適切なキーワードや関連本を提案し、資料検索を手助けします。検索が苦手な方でも目的の資料にたどり着きやすくなります。

最後に、オーディオブックのサービス開始です。ホームページ上で、文学やビジネス書など各ジャンルの約7,500タイトルの録音図書を楽しめるようになります。高齢者や多忙な世代にも学びや楽しみが広がるサービスとして期待しています。

以上が新機能の概要です。主なスケジュールとして、令和8年3月10日から3月31日まで、システム入替作業と職員研修のため全館休館し、令和8年4月1日から新システムを稼働開始します。今回の更新により、情報アク

セスの利便性を高め、一層快適にご利用いただける環境整備を進めてまいります。

(会長)

ただいま事務局から報告がありました図書館システム更新について、ご意見はございますか。

(委員)

パスワードを統一する件は、利用者に対応するのでしょうか。それとも図書館側で対応していただけるのでしょうか。

(事務局)

パスワード統一に伴い、現行のウェブ OPAC のパスワードと電子図書館のパスワードについて、再設定の処理を図書館側で一括して行いますので、利用者の方に作業をお願いすることはございません。ただし、統一の関係でリセット（初期化）を行います。初期化後、任意のパスワードに変更するかどうかは、各利用者の方にお任せする形になります。

(委員)

つまり、最初に入力するパスワードはリセットされ、その後必要に応じて各自任意のパスワードに変更する流れということですね。分かりました。オンラインの利用申請も、パスワードを変更すれば、その時点で更新当日から利用できるという理解でよろしいでしょうか。

(事務局)

そのとおりです。

(委員)

その点はきちんと説明しておかないと利用者が混乱しますので、利用の仕方や設定の仕方の周知徹底をお願いいたします。

(会長)

ウェブ OPAC は、パスワードが必要なのですか。

(委員)

検索だけであれば自由に検索できますが、予約を入れるなどの機能を使う場合は必要です。大学図書館では、学内者用と一般公開用で OPAC を分けてい

るケースもあります。

(会長)

「ウェブ OPAC」という言葉だと、オンラインの普通の検索と勘違いされる方もいると思います。そのあたりの表現は工夫したほうがよいのではないのでしょうか。

**閉会**

(会長)

それでは、以上をもちまして、令和 7 年度第 2 回下関市立図書館協議会を終了いたします。

以上で議長としての私の務めは終わりましたので、司会にマイクをお返しいたします。

事務局より終了を告げる

(以上)